

「第7回川内川水系流域治水協議会」議事概要

合同開催：第10回川内川大規模氾濫減災協議会
第9回えびの大規模氾濫等減災協議会

令和3年3月に策定した「川内川水系流域治水プロジェクト」の推進に向けて「第7回川内川水系流域治水協議会」を開催しました。

今回の協議会では、近年の全国的な水災害の激甚化・頻発化を背景に、川内川水系において気候変動を考慮した流域治水プロジェクト2.0を新たに策定することを照会・合意しました。

また、令和4年度に作成した流域治水プロジェクトの取組状況の見える化を目的とした「行動計画」を更新し、フォローアップとして関係機関の取組状況の報告を行いました。

さらに、流域市町の市町長をはじめ関係機関で、各市町における流域治水推進に関する課題や取組、かわまちづくり（グリーンインフラ）推進にあたっての取組について意見交換を行いました。

開催概要

- 日時：令和6年3月11日（月）14:00～16:00
- 場所：伊佐市文化会館1F小ホール（web併用会議）
- 参加者：（※参照：協議会資料―配席図）

議事内容

- ・流域治水プロジェクト2.0の策定について、照会・合意を得た。（※参照：協議会資料―1）
- ・総合的な内水対策連絡会における内水代表箇所の取組状況、川内川水系流域治水プロジェクト及び行動計画について更新を行い、了承された。（※参照：協議会資料―2、3、4）
- ・自分事化に向けた取組計画について、令和5年度および令和6年度の計画を取りまとめ、了承した。（※参照：協議会資料―5、6）
- ・川内川流域における特定都市河川指定の検討河川について、報告を行った。（※参照：協議会資料―7）
- ・各機関における、かわまちづくり推進に関する取組状況について共有した。（※参照：協議会資料―8）
- ・各市町における流域治水やかわまちづくりの推進にあたっての取組・課題等について意見交換を行った。

主な意見等

【薩摩川内市】

- ・薩摩川内市におけるかわまちづくりについては、整備済みの向田地区、大小路地区ではアフターコロナも相まって、大変な賑わいを見せている状況。また、薩摩川内市内で3地区の整備箇所（うち2箇所整備済）があるが、今後は管理面も含めた連携を図っていきたい。

【さつま町】

- ・分かりやすいダム情報の発信に努めて欲しい。
- ・川内川にアユがいなかったり減少していることから、川内川再生プロジェクトを立ち上げており、さつま町流域だけで達成できるものではないと考えているので、川内川流域全体で協力をお願いしたい。

【伊佐市】

- ・特定都市河川指定を検討する河川となっている羽月川について、国県市で協力し指定を前向きに検討していきたい。

【湧水町】

- ・気候変動を加味した外水に対するハード整備と併せて、内水対策も重要性を増していくと考えている。

【えびの市】

- ・かわまちづくりを進めていくには、民間の方々との協力が非常に大切であり、つながりの強化を推進することで、地域の活性化がより盛り上がってくると考えている。



薩摩川内市長



さつま町長



伊佐市長



湧水町長



えびの市長



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所 流域治水課

〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号

TEL 0996-22-3271